

ヤブガラシ

【 *Cayratia japonica* 】

科名 ブドウ科

属名 ヤブガラシ属

薬効・用途

全草（烏澱苳 ウレンボ）を利尿、解毒、鎮痛薬とする。若芽は茹でてあく抜きすると食用になる。



・花期：6～8月

備考

多年草。日本全土、東アジア、東南アジアに分布する。繁殖力は非常に旺盛で、たちまち全体を覆い、藪を枯らしてしまうということから、藪（やぶ）枯らしと言われ、ヤブガラシの名が付いた。雄性先熟両性花。